

アドプト協定調印式

山王海 水土里 ネット 紫波町 海土地改良区



豊かな水を求めて

農業人口の減少や農業従事者の高齢化、そして農地の流動化と混住化により、農業水利施設の維持管理に対する意識が希薄化してきております。

更には、宅地周辺の水路へのゴミ等の流入や水路の監視及び清掃に要する労力と施設の修復に係る経費などの維持管理費用が年々増大しておりますが、現在の農業情勢では、賦課金を増額できる状況ではありません。

農業用水路は、水質浄化、生態系保全、防火用水等の多面的な機能を有する地域の共有財産であり、今後は、地域住民、行政、土地改良区が協働し、施設を管理することが必要になって参ります。

七月七日、管内の維持管理事業に携わっております業者さんと紫波町役場さんのご賛同をいただき、中央幹線用水路の草刈、清掃、植栽管理活動について、アドプト協定を締結いたしました。

この中央幹線用水路は、山王海ダムから滝名川に放流した水を取水し、志和、赤石、日詰地域の水田約五五〇haに農業用水を供給している水路です。

また紫波第三中学校、上平沢小学校、虹の保育園の前の通学路沿いを流れる用水路であることから、アドプトサイン看板を設置いたします。児童、生徒や父兄、地域住民に協働活動を啓蒙し、清潔で快適な地域づくりを推進して参りたいと思います。

土地改良区の概要

平成21年
11月1日現在

受益面積

3,836ha

組合員数

2,874名

理事長挨拶



土海土地改良区
理事長 高橋 公一

野山の紅葉も鮮やかに染まり、美しさが一段と増してきました。やがて木の葉も落ち、山々は雪景色に変わり、厳しい冬を迎える季節となりました。組合員の皆様には益々ご健勝のことと拝察いたします。又、日頃は土地改良区の事業推進や業務運営に対しまして、特段のご協力とご支援を賜わり衷心より感謝申し上げます。今年も田植え後曇天の日々が続き、日照不足による水稲の生育遅れが心配の時期もあり

ましたが、その後天候も回復し作況指数も「一〇〇」となり平年並みが確保されました。十月八日に襲来した台風十八号は、大型で特にも強風となり、水稲への被害が心配されましたが、大きな被害も無く収穫も順調に進み品質もカメ虫被害も無く、組合員共々ほっと一安心しております。しかし、果樹農家では収穫間近い果実が落下し、甚大な被害となったことに心よりお見舞い申し上げます。

さて、依然として厳しい農業情勢が続いておりますが、経済危機対策として農家負担軽減に資する事業が創設されております。その一つが、末端の維持管理が主体の小規模事業で行える「農地有効利用支援整備事業」です。もう一つに土地改良事業の受益者負担金の償還に係る利子助成を受ける「経営安定対策基盤整備緊急支援事業」や「土地改良負担金償還特別緊急支援対策事業」があります。（十

ページ参照）両事業とも当土地改良区では積極的に取り入れ、農家負担軽減に努めるため現在申請をいたしております。今、国民は農村の自然環境や景観形成を求めることが年々高まっており、又日々の暮らしに安らぎを感じる住民が多くなってきております。その中で親子ふれあい研修を

「山王海ダムと親しむ湖水フォーラム」（十一ページ参照）とし当土地改良区と「川を知る会」が主催となって行いました。特に今回は盛岡市から北上市まで北上川を利用して米を運搬した「ごんべい丸」（木造船）とゴムボートに乗船し、ダム湖の歴史や生活に果たす農業水利施設の役割の重要性について、学習と講話を実施したことにより、多面的機能の理解が深まったと思っております。更には施設の維持管理の軽減にも積極的に取り組み、アドプト協定の締結を行いました。これは水路の清掃や緑化活動を行うことによる快適な地域づくりを推進することを目的としており、管内の七建設業者が「山王海水土里会」を組織し、紫波町、山王海土地改良区の三者が協定の締結を結

んでおります。紫波三中前には桜も植樹し、緑化活動と同時に水路等の草刈を行い、景観への配慮及び維持管理活動を行うことに致しております。去る九月十日には平成二十一年度第一回臨時総代会を開催し、平成二十一年度決算をはじめ平成二十一年度第一次補正予算関係の全六議案を原案どおりご決定いただいております。平成二十一年度決算では、財政調整基金へ積立することができ、又庁舎維持管理費積立金にも予算どおり積立し、繰越金も前年度並みになっております。これも組合員や役員職員の協力の賜物と深く感謝申し上げます。今後とも組合員に支えられ、農地を守り、水を守り、地域を守ることに邁進することにご努力いたします。更なるご指導とご支援をお願い申し上げます。



平成二十一年度 第一回臨時総代会

平成二十年度決算など 六議案を決定

議室において開催されました。総代現員数五十名中四十八名の出席のもと、高橋勘一―番理事が開会を宣し、高橋公一理事長が挨拶を申し述べた。

次いで議長選出を諮った結果、第二区（水分地区）坂本幸男総代が選出され、議事録記名人には第四区（古館地区）北島幸男総代、第八区（八幡地区）鎌田勝幸総代が指名され、議事に入った。

提出議案六案件について審議の結果、いずれも原案のとおり満場により承認、可決されました。

〔審議決定された議案内容〕

第一号議案

山王土地改良区総代、役員、委員諸給与支給規程の一部改正（凍結）について

◆ 六月に支給される役員・期末手当を十五パーセント凍結し減額支給する。

第二号議案

平成二十年度事業報告並びに財産目録の承認について

第三号議案

平成二十年度一般会計収入支出決算の承認について

◆ 詳細は四頁掲載

第四号議案

平成二十年度特別会計収入支出決算の承認について

◆ 詳細は四頁掲載

第五号議案

平成二十一年度一般会計収入支出第一次補正予算について

◆ 平成二十年度決算に伴う補正が主な内容

第六号議案

平成二十一年度特別会計収入

◆ 支出第一次補正予算について平成二十年度決算に伴う補正が主な内容



議長を務めた 坂本幸男総代

監査報告書

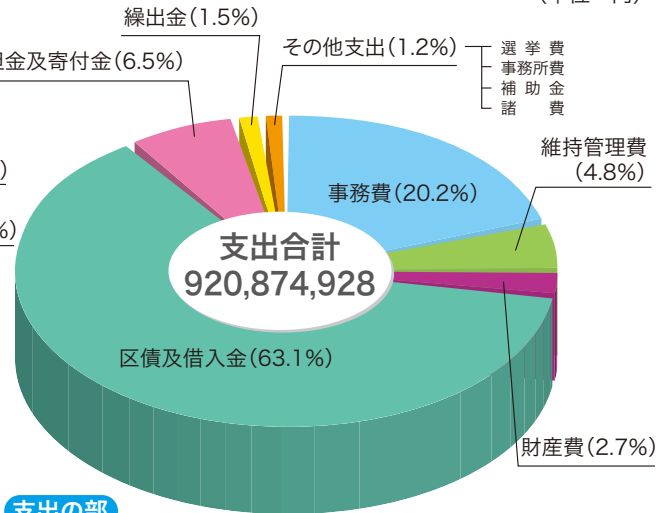
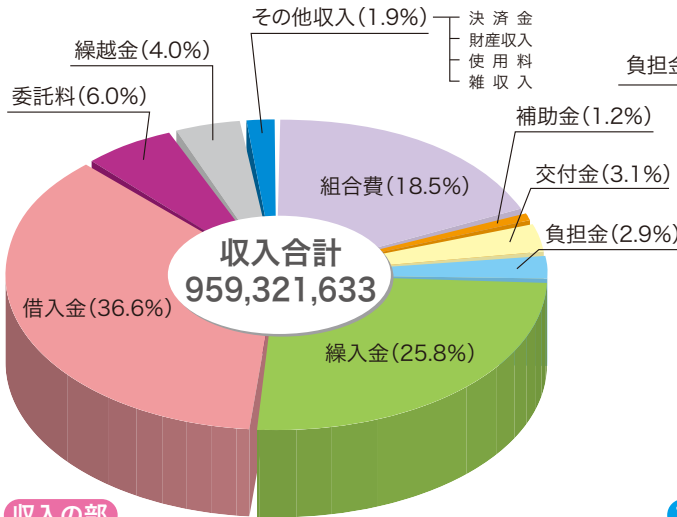
平成21年7月15日、理事長より提出された平成20年度収入支出決算書及び財産目録について平成21年7月28日、29日、31日の3日間監査し、証憑書類、諸帳簿と突合の結果、相違なくこれを適正と認めました。

平成21年7月31日

総括監事 細川 茂
監事 原 新一郎
監事 鎌田 征夫

平成20年度決算報告 一般会計

(単位：円)



収入の部

款	決算額	予算額	比較増減
組合費	177,746,446	182,361,971	△ 4,615,525
補助金	10,952,800	10,953,800	△ 1,000
交付金	30,004,000	30,004,000	
決済金	3,875,552	3,000	3,872,552
財産収入	1,913,197	162,000	1,751,197
使用料	4,903,519	3,504,717	1,398,802
雑収入	7,136,223	12,945,172	△ 5,808,949
負担金	27,776,771	27,776,771	
繰入金	247,776,156	247,779,156	△ 3,000
借入金	351,378,000	351,378,000	
委託料	57,114,650	57,114,650	
繰越金	38,744,319	38,744,319	
収入合計	959,321,633	962,727,556	△ 3,405,923

支出の部

款	決算額	予算額	比較増減
事務費	185,905,717	188,669,092	△ 2,763,375
選挙費	614,961	614,961	
事務所費	3,607,953	3,961,037	△ 353,084
維持管理費	44,655,849	46,164,900	△ 1,509,051
新規土地改良事業費		1,000	△ 1,000
財産費	25,190,737	25,548,076	△ 357,339
区債及借入金	580,630,720	580,630,720	
負担金及寄付金	59,691,623	59,760,623	△ 69,000
補助金		1,000	△ 1,000
諸費	6,485,118	7,045,347	△ 560,229
繰出金	14,092,250	14,092,250	
災害復旧事業費		1,000	△ 1,000
予備費		36,237,550	△ 36,237,550
支出合計	920,874,928	962,727,556	△ 41,852,628

収入支出差引残金 38,446,705円は次年度へ繰越

平成20年度特別会計 収支決算

(単位：千円)

地区名	項目	収入の部					計	支出の部					差引残金
		賦課金	雑収入	繰入金	その他	繰越金		繰出金	管理費	諸費	その他	計	
償還会計		2,363	168	1,055	借入金 9,416	861	13,863	323		23	借入金 11,953	12,299	1,564
南野原県ぼ		721	34	1,298		986	3,039	415	1,618	7		2,040	999
山王海県ぼ(51)			1,044			2,480	3,524	2,480		1		2,481	1,043
水分県ぼ		34,588	1,471	7,000		3,172	46,231	40,592	643	2,202		43,437	2,794
水分第二県ぼ		11,641	69	1,300		1,071	14,081	12,760	294	22		13,076	1,005
赤石第一県ぼ		26,951	800	5,000	借入金 9,440	3,537	45,728	37,512	931	64	借入金 3,125	41,632	4,096
赤石第二県ぼ		33,546	4,727	11,000		7,002	56,275	41,816	1,144	7,102		50,062	6,213
紫波中央県ぼ		10,956	526	6,000		1,441	18,923	16,288	400	761		17,449	1,474
上平沢県ぼ		9,908	546	8,000		1,794	20,248	18,386	462	28		18,876	1,372
土館県ぼ		8,429	250	1,600		630	10,909	9,720	440	17		10,177	732
宮手稲藤県ぼ		7,883	74			4,565	12,522	8,582	374	15		8,971	3,551
上台大下通県ぼ		3,572	48	600		650	4,870	3,868	150	3		4,021	849
八幡東部県ぼ		5,976	1,124			2,301	9,401	5,789	462	1,722		7,973	1,428
南日詰県ぼ		8,619	27,267			562	36,448	35,281	350	257		35,888	560
県営土地総黒西		5,903	283			2,138	8,324	2,541	631	461		3,633	4,691
県営土地総南寺林		4,204	172			1,474	5,850	1,862	475	9		2,346	3,504
県営土地総中寺林		4,961	7			577	5,545	4,031	200	203		4,434	1,111
維持管理事業				8,346			8,346				事業費 8,346	8,346	0
担い手育成支援事業			1		助成金 6,399	4	6,404	6,403				6,403	1
地区名	項目	補助金	助成金	繰入金	雑収入	繰越金	計	管理省力化施設整備事業	計画策定業務委託費	諸費	予備費	計	差引残金
新農業水利システム保全対策事業(山王海第一・第二地区)		4,435	707	2,828	1	1	7,972	7,070	901			7,971	1

平成20年度 財産目録

(平成21年5月31日調整)

資産の部

摘 要	金額(円)
I 流動資産	
1. 現金及び預金	75,438,841
現金	0
預金	75,438,841
一般会計	38,446,705
特別会計	36,992,136
2. 未収入金	24,300,169
一般会計	11,964,478
特別会計	12,335,691
小 計	99,739,010
II 特定資産	
1. 積立金等(関係農協預金)	573,390,660
基本財産	12,240,517
役員退職手当引当金見返預金	4,238,161
職員退職給与引当金見返預金	103,956,241
庁舎維持管理費積立金見返預金	13,057,399
維持管理事業決済金積立金見返預金	28,351,017
県営事業分担金決済金積立金見返預金	3,388,353
財政調整基金積立金見返預金	194,963,471
用地補償金積立金	1,083,734
施設敷取得補償金積立金	2,941,018
農林漁業資金決済金積立金見返預金(特別会計)	1,796,843
県営事業工事費繰上償還金積立金見返預金	39,076,975
特別会計積立金(土地買収費その他)	168,296,931
2. 出資金	1,470,000
農林中央金庫	820,000
岩手県信連	120,000
岩手中央森林組合	430,000
岩手中央農協	100,000
小 計	574,860,660
III 固定資産、その他	
1. 土地	8,545,912
2. 建物	198,780,500
3. 工作物	10,500
4. 機械器具	14,461,386
5. 備品	32,121,863
6. その他(部分林等植栽、立木)	44,780,434
小 計	298,700,595
資産合計	973,300,265

負債の部

摘 要	金額(円)
I 長期負債	
1. 農林漁業資金借入金	451,336,220
2. 平準化資金借入金	807,830,000
3. 水田・畑作経営所得安定対策等支援資金	234,965,000
小 計	1,494,131,220
II 短期負債	
1. 役員退職手当積立金	4,238,161
2. 職員退職給与積立金	103,956,241
3. 庁舎維持管理費積立金	13,057,399
4. 維持管理事業決済金積立金	28,351,017
5. 県営事業分担金決済金積立金	3,388,353
6. 農林漁業資金決済金積立金(特別会計)	1,796,843
7. 県営事業工事費繰上償還金積立金	39,076,975
小 計	193,864,989
負債合計	1,687,996,209

(別表)

特別会計積立金

地区名	農林漁業資金決済金見返預金	県営事業工事費繰上償還金見返預金	積立金	地区計
南野原県ほ	-	-	4,810,200	4,810,200
水分県ほ	109,520	2,723,561	491,007	3,324,088
水分第二県ほ	116,711	1,813,358	288,412	2,218,481
赤石第一県ほ	615,229	1,995,658	16,358,152	18,969,039
赤石第二県ほ	357,197	11,227,473	23,887,696	35,472,366
紫波中央県ほ	-	5,357,119	36,733,767	42,090,886
上平沢県ほ	25,255	5,244,187	60,390,096	65,659,538
土館県ほ	51,447	447,409	13,565,864	14,064,720
宮手稲藤県ほ	-	-	1,648,433	1,648,433
上台大下通県ほ	31,111	-	7,875,936	7,907,047
八幡東部県ほ	-	6,658,324	2,247,368	8,905,692
県営土地総黒西	95,988	1,448,334	-	1,544,322
県営土地総南寺林	394,385	2,161,552	-	2,555,937
合 計	1,796,843	39,076,975	168,296,931	209,170,749

平成20年度 事業報告

(平成21年5月31日調整)

一 地区及び組合員の状況

	平成19年度	平成20年度	増 減
地区面積 (ha)	3,845	3,840	△ 5
組合員数 (人)	2,902	2,875	△ 27

二 事業の状況

1. 維持管理費を以って支出した経費の状況

項 目	事業費(円)
幹線水路に要する経費	7,983,482
用水管理センター	4,264,650
水利調整組合運営補助金	2,305,440
水門・水路監視等に要する経費	3,863,083
地域用水に要する経費	1,727,400
適正化事業負担金	1,530,900
会議費その他	2,656,894
合 計	24,331,849

3. 担い手育成支援事業

地区名	担い手農業者数	助成金(円)
赤石第二	3	5,058,000
上平沢	3	1,341,000
合 計	6	6,399,000

4. 基幹水利施設管理事業の状況

施設名	事業費(円)	事業内容
山王海ダム	23,004,000	点検整備費、施設管理費等
葛丸ダム	16,843,000	〃
稻荷頭首工	7,099,000	〃
葛丸頭首工	2,404,000	〃
合 計	49,350,000	

5. 国営造成施設管理体制整備促進事業(管理体制整備型)の状況

項 目	事業費(円)	事業内容	区 分	事業費(円)	事業内容
計画策定事業	500,000	計画書取りまとめ	強化支援事業	11,482,000	施設管理費、予防保全助成
推進活動費	1,000,650	親子ふれあい研修(H20.9.28) 紫波町産業まつり出展(H20.10.18~19)	事務費	574,000	
			計	13,556,650	

6. 農業用水水源地域保全対策事業の状況

項 目	事業費(円)	事業内容
普及促進対策	2,400,000	パンフレット作成 1,000部 案内板作成・設置(2箇所) 草刈(2回) 共生植林委託業務(NPO紫波みらい研究所) 平成の森植樹イベント(H20.11.2)
事務費	24,000	
計	2,424,000	

7. 県営土地改良事業の状況

事業名	地区名	事業費(千円)	事業量	H21年以降事業費	完了予定年度
経営体育成 基盤整備事業	南日詰	240,000	面工事 13.8ha、補助監督業務費 換地費、測量試験費等	335,319	H22
経営体育成 基盤整備事業	中寺林	111,003	排水路工 L=2,482m 補助監督委託費、測量試験費等	590,397	H22

三 事務の経過 各種会議の開催状況

会議名	回数	備 考	会議名	回数	備 考
総 代 会	2	第一回臨時総代会(H20.9.24) 通常総代会(H21.3.25)	監 査	12	総合監査(H20.7.28.29.8.4)(H21.1.26.27.2.2)
理 事 会	13	定例11回、臨時2回	水利委員会	1	3月
担当理事会	14	総務会計4回 管理10回	事業委員会	1	3月
役 員 会	1	1月	役員総代協議会	3	9月、3月
監 事 会	3	4月、7月、1月	滞納金検討会	2	6月、12月

2. 維持管理事業の概要

新農業水利システム保全対策事業

地区名	事業費(円)	事業量
山王海第一	7,970,900	水路工 103.0m 実施設計、農業水利システム 保全計画策定
山王海第二	7,970,900	水路工 115.0m 実施設計、農業水利システム 保全計画策定
計	15,941,800	

維持管理適正化事業

工事名	事業費(円)	事業内容
稻荷幹線水路ゲート	4,000,000	ゲート点検整備
石仏頭首工	6,600,000	点検整備
南幹線水路分水ゲート	5,300,000	ゲート点検整備
葛丸一の留ゲート	2,000,000	ゲート点検整備
計	17,900,000	

維持管理事業

工事施行地区	事業費計(円)
8水利調整組合15件	8,346,450

会議開催状況

(平成二十一年四月～十月)

『理事会』

- ◆平成二十一年四月十六日
矢巾町農業委員会委員の団体推薦委員に係る推薦主体選定協議について 他十一案件
- ◆平成二十一年五月十五日
換地業務委託契約について (南日詰地区) 他五案件
- ◆平成二十一年六月十五日
花巻市農業委員会委員の推薦について 他七案件
- ◆平成二十一年七月十五日
平成二十一年度農地情報システムデータ更新業務の発注について 他二案件
- ◆平成二十一年八月十九日
補助監督委託業務の契約について (南日詰地区) 他四案件
- ◆平成二十一年九月二日(臨時)
農地有効利用支援整備事業の申請について 他二案件
- ◆平成二十一年九月十六日
土地改良調査計画委託事業広

域農業基盤整備管理調査「北上地域」山王海(二期)地区事後評価調査業務委託について 他四案件

◆平成二十一年十月二十三日
平成二十一年度特別会計賦課金延滞金の取扱いについて 他三案件

『監事会』

- ◆平成二十一年四月十六日
年間監査計画について 会計監査
- ◆平成二十一年六月二十四日
会計監査
- ◆平成二十一年七月二十八日
総合監査の日程について 総合監査
- ◆平成二十一年七月二十九日・三十一日
総合監査
- ◆平成二十一年九月二十八日
会計監査

総代研修

平成二十一年度総代研修(隔年実施)

は、六月五日から六日の日程で、総代三十六名、役員十名の参加のもと、宮城県亘理土地改良区管内を視察しました。亘理土地改良区は、宮城県の最南東に位置し、東西5km南北20kmの太平洋に面した海抜0から8mの平坦な地域で、亘理町、山元町の二町に跨る組合員四千二百名、受益面積四千haの土地改良区でした。三品理事長の挨拶の後、担当職員の概要説明に総代さん方は熱心に耳を傾けておりました。総代研修を通して、各総代の結束を高めた有意義な研修となりました。



アドプト活動

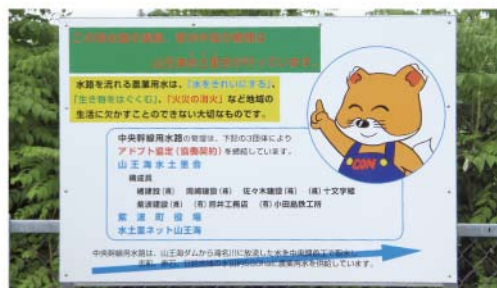
中央幹線用水路

中央幹線用水路のアドプト活動が、去る七月三十一日と九月十八日の両日実施されました。

実施団体である山王海水土里会(構成員は左記参照)を中心に、地元行政区長、水土里ネット山王海の十八名が参加し、紫波第三中学校の前を流れる水路約二百六十メートル区間において、草刈、清掃作業を実施しております。

【山王海水土里会 構成員】

- 橋建設株式会社
- 岡崎建設株式会社
- 佐々木建設株式会社
- 株式会社十文字組
- 紫波建設株式会社
- 有限会社照井工務店
- 有限会社小田島鉄工所



平成21年度土地改良事業発注状況

事業名	地区名	工種	数量	工事内容	施工業者	工期
維持管理事業	(1-1号) 北幹線	パイプライン補修他	一式	φ75用水管補修 他一式	十文字組	H21.10.13~ H21.12. 4
	(3号) 中央幹線	用排水路装工	18m	コルゲートフリーウム400×400型	十文字組	H21.10.13~ H22. 3. 5
	(7-1号) 志和地区南部	排水路補修	20m	L型擁壁 据え直し	佐々木建設	H21.10.13~ H21.12. 4
	(7-3号) 志和地区南部	土砂吐弁設置	一式	φ100土砂吐弁新設 一式	照井工務店	〃
	(7-4号) 志和地区南部	土砂吐弁設置	一式	φ75土砂吐弁新設 一式	岡崎建設	〃
	(7-5号) 志和地区南部	土砂吐弁改修	一式	φ250土砂吐弁改修 一式	紫波建設	〃
	(7-6号) 志和地区南部	排水路補修	10m	排水路補修	橋建設	H21.10.13~ H22. 3. 5
	(7-7号) 志和地区南部	パイプライン補修	一式	φ75用水管補修 一式	十文字組	H21.10.13~ H21.12. 4
	(8-3号) 葛丸上堰	用水路改修	65m	塩ビ管φ300 64m 管理 設置2基 取水工 一式	秋柴建設	H21.10.13~ H22. 1.12

地域用水監視人

山王海土地改良区では、農業用水を使わない冬期（10月1日～3月31日）において、紫波町、花巻市の要望を受け、消防水利、家庭雑排水の希釈等、地域用水対策のため冬の間も水路に水を流し、監視人を配置して地域の環境保全に努めております。

監視区域	監視人氏名 (住所)	監視区域
第1区	野崎 嗣雄 (紫波郡紫波町北日詰)	・稲荷幹線（稲荷頭首工～稲荷幹線3号配水槽～八幡、馬場堰） ・中央幹線（中央頭首工～京田分水工～京田）
第2区	板垣 与治 (花巻市石鳥谷町大瀬川)	・葛丸幹線（葛丸頭首工～開拓分水工～大瀬川分水） ・葛丸上堰（葛丸一の留～小屋場分水）
第3区	渡辺 良治 (花巻市石鳥谷町富沢)	・南幹線（大瀬川分水～富沢分水工～大興寺配水槽） ・石仏幹線（石仏頭首工～中寺林八幡取水工～黒西取水工）

平成21年度 特別会計賦課金の延滞金の取扱いについて

平成21年度の特別会計賦課金の納期日は、11月30日(月)です。

本年度は特例により、平成22年1月4日(月)まで、延滞金を猶予することとなりました。

※ただし、平成22年1月5日(火)以降納付の場合は、納期日翌日からの計算になります。

口座振替日は12月24日(木)です。

振替日前に
残高の確認を
お願いします！

※特別な事情により、金融機関で納付が困難な方は、直接徴収も致しますのでご相談ください。

※11月30日(月)並びに12月28日(月)、平成22年1月4日(月)は土地改良区事務所窓口を午後7時まで延長します。
日中に金融機関で納入できなかった方はご利用ください。

賦課金の納付は、口座振替が大変便利です！！

◆取扱金融機関◆

岩手中央農協本所、各支所及び出張所
花巻農協石鳥谷支店

【問合わせ先】

総務課 賦課徴収係 (TEL 019-673-7311)

特別会計地区別償還完了年度調書

	地区名	償還完了年度(予定)	償還金助成導入事業
償還会計	大瀬川西部	H25	
	岩清水	H32	水田・畑作経営所得安定対策等支援事業 (*1)
特別会計	水分県ほ	H30	土地改良負担金償還平準化事業 (*2)
	水分第二県ほ	H30	土地改良負担金償還平準化事業
	赤石第一県ほ	H30	土地改良負担金償還平準化事業
	赤石第二県ほ	H31	土地改良負担金償還平準化事業
	紫波中央県ほ	H31	土地改良負担金償還平準化事業
	上平沢県ほ	H32	土地改良負担金償還平準化事業
	土館県ほ	H25	
	宮手稲藤県ほ	H28	
	上台大下通県ほ	H30	
	八幡東部県ほ	H33	
	南日詰県ほ	H39	
	県営土地総黒西	H32	水田・畑作経営所得安定対策等支援事業
	県営土地総南寺林	H32	水田・畑作経営所得安定対策等支援事業
	県営土地総中寺林	H39	水田・畑作経営所得安定対策等支援事業

(*1) 水田・畑作経営所得安定対策等支援事業 (H20～)

事業の地元負担分として借入した有利子資金（農林漁業資金）返済残金の6分の5相当額を無利子資金に借り替え、利息返済額を軽減する。

(*2) 土地改良負担金償還平準化事業 (H3～)

農家負担額の高騰を避けるため、一定負担額以上の支払い期間の資金を農協より借入し後年に繰り延べすることにより農家負担額の平準化を図る。

農協からの借入利息については、国が補助する。

新規事業について

土地改良負担金対策事業

担い手への農地利用集積や面的集積の促進と土地改良負担金償還の軽減を図るため、平成21年度から新たに「**経営安定対策基盤整備緊急支援事業**」及び「**土地改良負担金償還特別緊急支援対策事業**」がスタートします。

どちらの事業も土地改良事業の受益者負担金又は償還金に係る**償還利息相当額**について助成されます。

— 負担軽減の対象となる事業例 —

【国営事業】かんがい排水事業等 【県営事業】かんがい排水事業、ほ場整備事業等

事業名	経営安定対策基盤整備緊急支援事業	土地改良負担金償還特別緊急支援対策事業
申請主体	土地改良区、市町村	土地改良区、市町村
助成期間	平成21～平成27年度の7年間	平成21～平成23年度の3年間
採択期間	平成21～平成25年度	平成21～平成23年度
採択要件	担い手への集積要件等を満たす地域	同左（集積要件は1/2）
受益者負担要件	受益者負担率が一定割合以上 受益者負担金の合算総償還額が一定額以上 ①10a当たり合算総償還額が87千円以上 ②1戸当たり合算総償還額が1,470千円以上	受益者負担金の合算総償還額が一定額以上 ①10a当たり合算総償還額が44千円以上 ②1戸当たり合算総償還額が740千円以上

農地有効利用支援整備事業 — 農業生産基盤の簡易な整備 —

事業の目的 …… 地域が目指す営農体系の変更及びその定着に必要な基盤整備を支援することにより、食料供給力の強化に向けた取組を推進することを目的とします。

支援の内容 …… 農地や農業水利施設等の**簡易な整備**を行う場合に、事業費の**50%**を国が補助します。

◆対象者…土地改良区・市町村・その他（農業水利施設などの管理者）

◆簡易な整備とは…農業用排水施設の新設、暗渠排水、客土、区画整理等

実施期間 …… 平成21年度～平成23年度

条件 …… (1)食料自給率の向上や生産調整の取組を通じて、地域における営農体系が変更される見込みであること。

(2)1箇所あたりの工事費が200万円未満であって、単年度で施工可能なものであること。

※暗渠排水等を整備する場合は1箇所あたりの工事費が1,000万円未満。

当土地改良区では、農家負担の軽減・農業用水利施設の整備促進に向けて、新規事業を積極的に導入しております。今回の事業も事業申請又は調整中の段階です！

21世紀土地改良区創造運動

土地改良区の役割と水の大切さ!

国営造成施設管理体制整備促進事業

水土里ネット山王海は、土地改良区の役割や農業用施設(ダム、水路など)の持つ多面的な機能を地域住民の方々に広くご理解いただくために、様々なイベントを企画・参加しております。

H21

9/27

親子ふれあい研修

山王海ダムと親しむ湖水フォーラム

今年度は紫波町の「川を知る会」と共催し、木造船「ごんべえ丸」やゴムボートに乗船し、山王海の歴史やダムの必要性などを湖面の上で学習体験しました。

施設見学

普段は入れない管理事務所・取水塔・監査廊を見学



ごんべえ丸船上研修

郷土史家の内城先生からダムの歴史と役割について説明いただきました



ゴムボート船上研修

川を知る会の皆さんによる水辺の安全教室



ダム湖へ稚魚放流

いわなとヤマメ1,200匹を放流



農業用水水源地域保全対策事業

『動物と共生する森を創ろう!』

— 森が育てる新鮮な空気と豊かな水源地 —

H21
10/11



「木の実には熊に、用材は人に…」をテーマに昨年度から実施している「平成の森」での植樹をNPO紫波みらい研究所との共催により実施しました。

当日は、東京からグリーンツーリズムの一行を含め75名が参加し、自然観察会、苗木の植樹、どんぐりのポット苗木づくり、食育の講話を行いました。植樹した苗木は、アオタモノキ、エゴノキ、クワノキ、イロハモミジの計90本を各グループ毎に1本ずつ丁寧に植えました。植樹場所には「百年後もおいしい木の実つけますように」など未来に送るメッセージを書いた板を立てました。

昼食後は、「耳欠け稲荷と水げんか」の紙芝居、ダム施設見学を体験していただき水土里ネットのPRを行っております。

H21
10/17・18

紫波町産業まつり

第26回紫波町産業まつり(会場：サンビレッジ紫波)に出展し、パネル展示やクイズを行い、水土里ネットの役割を一般の方々へ紹介しました。

両日は、親子連れやお孫さん連れの方々、小中学生が大勢立ち寄っていただき、700名を超える来場者となりました。

今年は、山王海ダム、滝名川に住む魚(ヘラブナ、ヤマメ、カジカ等)を展示し、きれいな水の大切さをPRしました。



発行者

水土里ネット山王海
山王海土地改良区

〒028-3441岩手県紫波郡紫波町上平沢字川原田15番地
TEL:019-673-7311 FAX:019-673-7360
ホームページ: <http://www.sannoukai.jp>
メール: heian@sannoukai.jp

平成十三年度にはじまった二十一世紀土地改良区創造運動は、土地改良区が果たしてきた役割・機能、また、これから果たしていく新たな役割・機能につき、積極的に国民・地域住民にアピールし、また土地改良区自ら市町村・地域住民と連携しつつ、主体的かつ積極的に取り組む意識をつくることを目標とする運動で、当区でも「親子ふれあい研修」「紫波町産業まつり」「平成の森での植樹」等を開催し、運動を展開してきました。近年はNPOの協力として今年も「川を知る会」「山王海水土里会」といった外部団体と連携し運動に取り組む、ネットワークの構築を図っております。七月にはその成果を発表する東北地方選考委員会が開催され、当区の活動状況を発表してきましたが、東北地区のレベルが高く、「大賞」に選考されることは叶いませんでした。今後とも幅広いPR活動ができるよう、頑張っていきたいと思っております。(か)

編集後記